

59

Azn
377

商店_ニ於_{ケル}創業手續

横竹平太郎

5/28, 持
丙 Agn-377



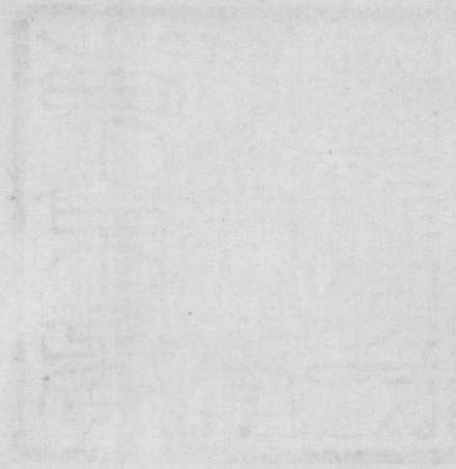
内國實踐科

報告書

本科三年生

横竹平太郎

昭和十年七月五日
学生課ヨリ寄贈



高等南業學校

一 觀
二 乙
三 丙
四 丙

一 商人為店、於此創業者須目次

為店主人、要之學問及經驗

商業種類ノ撰擇

資本

店鋪

營業使用人

店則

帳簿及用箋

注意

一人商店の創業手續

題シテ一人商店の於ケル創業手續ト云フ
 其辭釈ノ甚ク易カラサルアリ然レモ是ハ
 余ノ推斷ヲ以テ之ヲ述シ手續ヲモテ解シテ
 商店主人ノ心得ヨリ説キ以テ開業ノ終リ
 就中用箋帳簿ニ付キテ他ニ調査セラルノ
 士アリ之ニ譲リテ以テ重複ヲ避ケヌ

商店主人の要スル學問及經驗

己ガ一商店ノ主人トシテ貿易ニ從事シ内外商ト笑談ノ間
 取引ヲ調ヘ下ニ或多ノ使用人ヲ使役シ之ヲ遇スルニ恩威
 其度ノ宜シキヲ得ル其方ニ勵マシムル其收ムル所ヲ考カシム

レトト通常凡庸ノ人ナラズ得ヘキ業ナシヤ為モ學ヲ修メ
経歴ヲ有スルモノアラズンバ馬ノ能ク人ノ先ニシ
得ベケン 棧ヲ制スルノ

然ラハ如何ニ道程ヲ経ルヲ以テ之ニ達スルノ最良短徑ト
ナカク幼少ノ時ヨリ店舖ニ入り以テ業ヲ習フカ、地方ノ商
業校、入り業ヲ修ヘテ後初メテ店員トナリ業ヲ執ルカ若クハ
現今本邦商業教育ノ最良府タル高等商業學校
ニ卒業せん後貿易商店ニ入り自ら身ヲ低クシテ業ヲ執リ
以テ他日自家企業ノ基トナスカ其孰レシ優レリトスんヤ
付キテハ世間既ニ是論ナレトセズ然レモ世間ニ遊スルニ高
等商業學校ノ卒業生ハ未タ以テ一人商店ニ在ルモノ
ナリ現時ノ僑商ノ多クハ學ニ疎ク猶ホ所謂小僧上リ
ノ店員ヨリ又卒中卒業後他ノ方法ヲ以テ商人タルノ

資ヲ作ルヲ良レトスル 學者モモシム又之ヲ實際家ノ説ニ求
メサルヘカラス

曰ク 幼少ノ時ヨリ高等ニ入り所謂店員トシテ使役セラルハ
モハ今後益下層ニ沈淪シテ遂ニ浮ル瀬ナカルベシ
何トシバ彼等ハ學ヲ修メ始終局部ノ業ヲ執ルシ以テ
其事ニ明カレシ然レモ商家ニ在リテハ彼等ヲシテ全局
ノ事務ニ通セシメンカ為メ之ヲ他ニ移テシムルノ
極ナリ故ニ生平起ル事ハ其ノ中ニ付キテハ殆ント自強ニ
之ヲ倉得シ 恰モ東洋ノ意ナキハ 棒ヲ吾前
ニ加フルモノアラバ 閉チント 欲セシテ自然ニ 職ノ 閉
シカレリ 自ら 勉メスレテ 其的ニ 中ルノ 又サナカラ
不然レハ 日新月歩ノ 世ヲ規ノ 事項 倣現ハ
ル、ヤ 其事ニ 甚ク 暗クシテ 殆ント 迷 霧ノ 中ニ

徇細シテ存ス所ヲ知ラズ且其修ムル所ノ學ヲ淺
 博ナルヲ以テ社會ノ大勢力ニ暗ク人々先ニツサナシ
 故ニ一部ノ長シルヲ得難ク況ンヤ一家ノ長ニ
 ヲヤ、サレドモ持ノ人一人トシテ他日頭角ヲ現ハス
 ナレト云フニハアラス秀才オノ士ヲツラヒ道ヲ述ラハ
 或ハ早出スルヲナレトセンヤ
 然ラハ地方ノ商業板ト高末為業板板レテ往
 由ニテ良シトスルヤト云フニ是亦云フ迄モナシ外人
 ニ對シテ内人ニ對スルモ内定ニキキノハ卑シク又輕セラル
 然レモ何レモ商家ニ入りテ業ヲ習フヤ早成スル者アリ
 時日ヲ要スル者アリ是レ人々ニ中リテ異ナル所
 高等商業學校ノ卒業生ニ必ラズシモ地方
 為業板ノ卒業生ヨリ早シトセザルナリ

然リ而シテ業務ヲ習フハ規模ノ大ナル為社
 ニ入ルヨリ小商店ニ入ルヲ良シトス河トセハ大為店
 ハ自逸分業モ板端ニ行ハシ其不便性モ
 ハ儒カ感スルカ此中モ小為店ニ至リテハ大ニ然ラ
 ズ自己ガ執ル業務ヲ全般ニ涉ルヘリ又全額
 ノ業務ヲ見ルモ彼大ナラサレハ之ヲおルル一ノ左
 様ノ困難ニモアラス又小商店ニアラバ各人又業ハ
 所々ト大商者ヨリ大ナル困難トス何トナレバ使
 用人サナリ業務忙ハシク又自己ノ小失錫モ主人
 ノ損失比較的大ニ以テ主家ノ基礎ヲ動カ
 シムルノ憂ナントセザルヲ以テ業務ニ注意スルヲ
 以テナリ
 世間大商店ナルノ利ヲ説クモノアリ大商店ハ大商

店ノ長所利益ヲ有スルヤ勿論ナリ又種々ノ可
法ノ下ニ初メ之ニ入ルヲ便トスル者モ凡ソ然レ
此種ノ目的ヲ有スルモノハ全般ヲ論スレバ必ラス
中不爲店ニ入ルヲ利トス
ト

聞ク如クシハ小商店又高等爲業學校卒業生ノ
用ニキリ知リ漸次之ヲ入ルモノヤナカラスト
返レバ旧來ハ
容易ニ脱スヘクモアラズ老朽ヲ養ヒ徒ラニ日月ヲ経過
スルヲ見レバ世間ノ事又利ノミヲ以テ決行スルカラス
モノアルカ如シ

業務ヲ習フカ爲メハ商店ニ入ラハ熱心ニ其義務ヲ
見習フハキハ勿論ノコトナレバ尚ホ勉強整理計集
守約克己の節制正道と廉潔等徳性ヲ養ハ

セルヘカラス

斯クシテ商人ニ要スル徳性及執務ヲ習得スルニ至ラハ
自家獨立ノ業ヲ営ムコトヲ得ルニ至ルベシ

商業の種類と操縦

市場の商売の種類より商業の種類又多し是れ企業者ノ中心所ニ任センノ今ノ我邦ニ多ク行ハル、モノハ直接輸入ニシテ鉄物機械類ヲ最モ多シトシ輸出ニシテ多クハ外人ヲ相手トシテ賣込若クハ輸入スルモノナリ又業ノ種類ニ至リテハ *Commissions Merchant*、*Broker*、*Factor*、*Wholesaler* 高島ニヨリテ多ク資本ヲ要スモノ又種類ニ由リテ巨額ノ資金ヲ要スルモノモアルベシ 機械ノ輸入ハ其規模ノ大小ニ由リテ凡 通商者ノ資本ヲ要シ賣込高ノ如キハ比較的少資本ニテ可ナルベシセド又其運轉ノ巧拙如何ニ関スル所又大ナルトス

富業ノ種更ヲ極フニ付テハ、資金ノ大小ト利益ノ多寡ヲ
ヲ見ルニク、富名ニ付キテハ其仕入支那販賣、如何ヲ
採擇セサルヘカラズ、即チ生産者ト割引込金ノ仕方
運輸ノ方法等種々必要ナル條項ノ契約ヲ爲シ
又小賣商、其他消費者、掛合ヲナシテ以テ其荷物ノ
販賣ヲ求メ置カサルヘカラズ

資本

世間臣多ク、遺産ヲ抱ケモソハ以テ業ヲ爲スノ手腕ナク
才能アルモノコレヲ用ニキルノ資本ナキモノ、泊々皆然リ
然レ長見ヨ、満天ニノ紳商ヲ以テ目セラル、ノ士果シテ
如何、其初ノヤ徒手空囊、而モ斯クノ如キ産ヲ興ス
抑如何ソヤ

彼業ノ多クハ、維新ノ際ニ過ヒ大日本帝皇大
運託ノ時ニ棄シ身ヲ正夫貪^赤ヲ起シ、企回偶中
奇功ヲ奏シテ遂ニ今日ノ富貴ヲ致セリ然ルニ在来
ノ富貴ハハは、彼自態ノ味^ク取^ルズル^テ知ラズ、遂ニ
家資分散家運没落セリ然ルニ前者ハ富貴ノ無気
力ニ極、活氣アリタルト且ハ此輩ノ外レタルモノ多キモ

此輩ノ者ノ名ハ有り侍ハラセスレテ**成功セル者獨リ**
 現今赫々ノ名ヲ成シ世人ヲシテ如何**尊死**者流モ
 此際一面下手セバ之ヲ得ルハキモノト想ハレハルニ至レバ
 尤モアラサルナリサレドハ**奇功**ヤ耳ヒ演セント**歎**シテ
 演ハセラルヘキモノニアラス故ニ**成功ノ道**ヲ述ラシハ前ニ
 述ヘタル學ヲ**歴**テ**要**トノ時勢トナリ又
 然リ而シテ其職ヲ執ルニ系テモ**勤儉**自ラ持シ以費ヲ
 去リ以テ余財ヲ貯フヘシ**間**ク

"Money more easily made than earned"
 "Easy to get but very hard to keep it"

又間ク貳千ノ現金ヲ冬千ハ信用ヲ以テ**勤**カスヘシト
 然ラハ貳千ノ資本ハ五千ノ資本トナリ之カ**運動**方法宜

シキヲ得ハ尙**成**候ノ**流通**ヲモナスコトヲ得ヘケン

然レハ**事業**一由テハ**數千ノ資本**ヲ以テ開始スヘカラザル
 モノモ多カルベク又**數千**ノ資本ナリ候令**數千**ナリ候

尙貯蓄スル一**困難**な場合多カレシ斯カル場合ニ
 於テハ自己既ニ**私**令ノ名腕アリト人々許シ自ラモ信セバ

良キ**資本**ノ入レ場所ヲ探索シ居ル**資本**家モ尋
 カメレバ之ト**匿名**組合ヲ結フモ得々令**資**但レハ借

用スル一モ**貴**迫ントセンヤ
 間ク**富**業上ノ**注**意ナキモノ**業**ヲ卒ヘテ直テハ**數**万

數千ノ金ヲ得テ以テ**業**ヲ創ルハ尙**果**印ノ如シト
 真ニ其業ヲ得得スハ其**資本**ヲ**當**益セスハ能ハジ

故ニ尙モ**資本**ヲ得ル一候ハスハ又起ワレ候ハザランノ
 如カズ若シ此種ノ財アラハ自己ハ**限**ノ人ニモ**借**セザルハ

マテ他ニ於テ自ラ果シ習得シ而ル後業ヲ創ム一シ
徒ラ、得新キ哉才ノ財ヲ費ス又惜ム一キニアラヌヤ
斯ク脱ニ業ヲ得テ後創業モ且尙且ツ成功ハ万全ナリト
云フ一ツ得テ海陸ノ危険ニ保険アリ家屋ニ火災
保険アリト云々又見込違ノ一ナシトセズ貨物ノ延着
不同急激ノ下落 破損ノタノ自家ノ負担ニ致シ
産ヲ失フ一アリ聞ク以場合、放テ其失敗ノ原因ヲ
究メ解スル所 救済 若クハ急情ニ由リ惑起セルモノナ
ラハ更ニ之ヲ省ミズ若シ正當ノ事情ニ基テハ又
資金ヲ貸与スル一支那資本家ノ風ナリト
我近江商人ノ之ニ類スルモノアルヲ聞ク 然ラバ
又更ニ元本ヲ得テ先キノ失敗ハ愈益経験
ヲ加ヘテ以テ来ル成功ヲ確固ニスヘシ資本家タル

モノ以テ得アラズ真ニ人ヲ使フノ識見アリモノト
云フべシ

銀行モ亦資本ノ供給場ナリ遊資ニモ人預テ
入レ資本亦シ要スモノハ借ル然レモ銀行ノ利得ト云
所ハ貸主ヲ得ル所ト借主ニ拂フ所ノ差ト也
自ラノ一ノ軽率ニ資金ヲ与ヘテ元本ヲ失フノ
愚クナサンヤ殊ニ創業者ニアリテハ容易、信用
ヲ興ヘズ確實ナル 銀行ニテハ当座預金ノ申込サ、
容易、度付ケサルモ自己、真ノ手脱アリ他日
融通モ付クべシサレド我邦ニテハ銀行者同ノ觀
年甚クシキカカメノ後一銀行ト当座勸定ヲ
開ク一モ容易ナル代リ人ヲ信スル一ハ甚ク薄キ
ヲ以テ創業者、取テ一特、信用ヲ以テ資本ヲ

運轉云々ト述レトラス

店 舗

商店ノ位置、付きハ商業ノ種類ニ由リテ異ナリトモ凡
 馬車ノ銀行保險會社汽船會社最富ノ場所ヲ便
 トス然レモ問屋ノ如キハ水邊ノ便ニ地ヲ良トス何トモ
 陸、馬車為車アリテ一時、數十百貫ヲ運搬スルモ尚
 馬車一頭人夫一人ヲ要ス然レモ船ニセリテハ十數倍ノ
 貨物ヲ載積シテ僅カハ船頭一二人ヲ要スルノ故、
 其運搬費ノ如キハ陸運、比シテ遙カハ低廉ナリ
 カリトモ又辺僻ノ地ヲ選フヘカラス
 商店ノ得資ノ出入ル所ナレバ商人ノ衣服ト同シ
 華美ヲ須ヒス只堅牢清潔ヲ尚ブ余リ不
 潔ニシテ家屋ノ修繕ノ行キ届カサルハ一時ノ費用ヲ

節スルモ終局ノ利益ニモアラザルベシ
又借家ヲ良シトスルカ若クハ家賃地所マラモ買フヲ
宜シトスルカニ自キテハ概言スルハ為業資本ヲ不動産
トシ固定セシムルハ當負スヘキニアラズ然レモ自家ノ資本
巨大ナルカ又ハ他ノ便アラバ之ヲ買ヒ求ムヘキモ適
当ノ借家アラハ是シヤトス

商業使用人

天六ノ事獨力ヲ以テ為スヘクモアラズ事ノ大ナル
ニ從ヒ益其多キヲ要スベシ數代ヲ経テ幾万ノ
人エヲ加テ遂ニ落成セシ塔サナクモ土ヲ掘ルノ人
必ラスレモ石ヲ刻ムノ人ニアラズ石工土工煉瓦
師等相恨カシテ遂ニ一字ヲ造ル人各長スル所
アリ短シトスル所アリ彼我其長ヲ集メテ以テ
人ノ想像ニ過クルノ業ヲ成スヘキナリ商店ノ主人
自ラ五人前ノ働ヲナスモ他ニ使用人ヲ要スヘク況ン
中規模ノ大ナルモノニ於テヤ然レモ人ヲ得ルヤ
甚タ難シ人ナキニアラザルモ已カ求ル所ノ人ハ未ラスレテ
身辺ニ集マルモノハ希テ我ノ甚タ尊貴セザルモ

多クシ 爾リ世間ニ人ナレトモアリセド是レ便ハル
ヘキノ人ナキニアラズシテ自己カ使フノ人ニアラサルヲ
知ラサルニ望スルノコト一可味哉
凡ソ業ノ何クルツ同ハス自家支配ノ下ニ良キ
人未ラハ以テ業ヲ成シ老ヲ興スヘク又奸智ニ
長ケタルモノナラバ或ハ為メニ産ヲ傾ケ失敗ニ
終ルイ少レトセズ故ニ己ハ使フノ人トナルノ資ヲ
備フルニ勉メ以テ便フヘキノ人ヲ招キ以テ専心
業ニ勤メシメノ賞褒共宜シキヲ得ハ何ソ成
功セサルヲ直ニヤ
令子代ヲ授フニ付キテノ注意ヲ述ヘンニ子代ハ丁
年以上ナルヲ良ントス 特ニ高頭ニ至リテハ中老
以上 既ニ業ニ慣シ 下ヲ御スルノ才不服スルノ

恩ト威トシ備ヘサルヘカラス而シテ又大ニ關係を所
アルハ其父母ノ職業性候ニシテ其子ニ關係を所
大ナリ又本人ノ學問紹介人ノ性角及其關係ヲ知
ルヲ要ス 以上ハ本人ヨ見ル材料ナリ 本人ト該ヲ交ヘ
内ヲ費シテ以テ彼ヲ験スヘシ 其標準トモキハ主人ト
同シク 身体ハ健全ナラサレバ如何シ業ヲ執ル
巧ナルモ屢々欠席セラル、ニ於テハ其事務ノ滞滯
不便果シテ如何特ニ重要ノ位置シタルモノ、於テハ
其不便不利甚クシ 如カズ和ニノ人ナルモ常ニ是ノ
コトヲ時ニ其場所ニアルモノニ 哲年ヲ弄スルヨリ
毛明快ノ年 權理ヲ要ス 勤費年ヲ弄スルモノハ秘
密ヲ要 該ルヘシサナクモ 要ノ時向ヲ以テ費スヘシ
輕卒ナルモノヲハ辭ケサルヘカラスモ 此等ノ事
Clergy

ナルモノヲ撰ハサレハカラス。事務ヲ執ルテ自ラ芳力
ヲ吝ムモノナルヘカラス。専心一貫之ニ従ヒ自家ノ
利是レ冀フノ徒ニシテ節儉己ラ持シ約ヲ守
リ身ハ人ニ使ハル、モ気節高ク所謂士魂ヲ
腹中ニ藏シ身ハ低クシ傲慢ノモノナルヘカラス。
庸人ハ業務ニ勉勵ナキラレムヘク、給料ハ多カル
ベシ、褒貶公平ナラサルヘカラス。又保正人ヲ立ラシメ
保正金ヲ取ルヘカラス。必要ナキ一付シ、細メレムヘク、
雑費中ヨリ減分ヲ削キテ月々之ヲ積立テレムヘ
シ。然レモ一割ヲ以テ交トナス。ズシテ業務ハの成責任
ヲ持タセラシメ、妻子賞スルキハ賞シ、同列スルキハ同列シ、其
返ヲ昭カシテ以テ庶民ヲ主人ノ利ヲ謀ラレムル様守
カサルヘカラス。

然リ而シテ支取人ヲ置キテ^代業務ヲ執ラレムル所ハ
豫メ之ヲ裁判行シ、由ケテ出テ登記ヲ受ケルヘカラス。
又、商人モ自宅若クハ下宿通ヒノ者モ多ク、
モ店ノ起居スルモノヲ置カハ是亦^市外村没場
ニ属出ラサルヘカラス。
以上二種届出ノ般形次ノ如シ

代務人登記陳述書

何村何村何村何村

何

某

印

登記事項

一 商標等，以在任所 何村何村何村何村 某

二 商標及營業所 何 某

三 代務人，以在 何 某

右登記申請仕事也

年 月 日 在

何

某

何已裁別所

脚中

鹿人寄留局

行新船以所所以少ハ蘇江船

行集多鹿人多母

本船以所所以所村以所以所

以集以所

行

集

年 日 廿

右介般之留者多ハ鹿人下之ヲ寄留致夫向
以彼乃以用之也

右 何

集

鹿主

行

集

市已所村長屋

市已所村長屋
但之先各ハ寄留代市三所村長下存下別之課ハ

店則

官廳ノ職務規定トモ云フキモニシテ一人ノ店
ノ如キハ面筋規模モ亦大ナルモノサナク從テ其規定
ノ如キモ被^レ雜ナクモノナク之ヲ造ラサルノ爲カモ尋
クシテ且^レ實之ヲ得ルモ満^ル是ノ答モナキモ
モノモサナクハ爰ニ記載スル^ルヲ要ス只主人支那人
自ラ彼是之ヲ分ツキナリ或ハ余見^ル由リ之ヲ扱
人若ク一人ニ委スモノアリ又地方分^ニナスモノアリテ
一定ノ法^ニニアラス

帳簿及用筆

項易第版ノ於ケル帳簿及用筆ノ使用ニ付キテ
調査セラルノ事アリシ以テ後、重複シ厥ヒテ之ヲ
畧シ又

注意

電信暗號

現今科學ノ進歩ト共、猶豫ノ時日ヲ許サズ商業界ハ
障地者同ノ取引ハ多ク、電信電話ヲ以テ現、我邦ニテモ
既に東京大坂間、長距離離電話ノ架設アリタレバ其他重
要ナル市府、電話ノ通セサルモノ多ク内地ノ取引ニテモ電
信ヲ要スルヲ多ク況ンヤ文通ナラハ數句少クモ一ニ週
間ヲ要スル海外取引ニ於テハ其必要殊ニ甚クシ然ルハ
外國宛ノ電報料ノ如キハ甚ク高価ニシテ尤メ、巨大ノ
失費アリ内國電報料トモモ亦低廉ナリト云フヘカラス
況、於テカ電信暗號ナルモノヲ製シテ以テ日者起ルハキ

事實ヲ云ヒ現ハスモノト爲リシ以テは費用ヲ節スル一
トナレリ然レ共其暗号ハ出版セラレタルモノアレバ亦自家
私用ノモノヲ作ラセハ一カウ知ハ編成ノ仕方ニ由リテ常ノ
身サアルヲ以テ返シセサルハカウス

書類ノ保存

書類ノ保存ニ欠クカニ充テシテ平時ハ其意不考
ニ由リテ便不復ヲ感シ一旦何訟紛議アルハ証拠
ヲナスモノニシテ商法モ亦保存ノ義務年限ヲ定ム
是又年月日ヲ追ヒテ同種類ノ書類ヲ綴リ込
保存スルヲ常トス

組合加入

同業組合法ナルモノ發布セシ之カ利益ヲ受ケル方
ノ同業ニシテ同業組合ナルモノアリ故ニ其處創業
ヲナスモノハ其處スル同業組合ニ加入スルハ是ハ一
由由ニ由ルモノニシテ尙單ナルモノナリ

以上、諸手續ヲ終ルル共、官廳、届出
ヲ申入ルカラス即チ

營業届

明次 年營業名課税標準届

商号 登記記陳述書

營業商

本社事務所村坊地方他族籍

一何商

何

某

右今股前記商書一皆巧之於子頭書一皆
業同業商書別也使用連物照鋼書相
海以收而商中上多月

年 日 日

左

市町村長

何殿

某

河府新河村河島地所在

一煉及先三階建

走棟

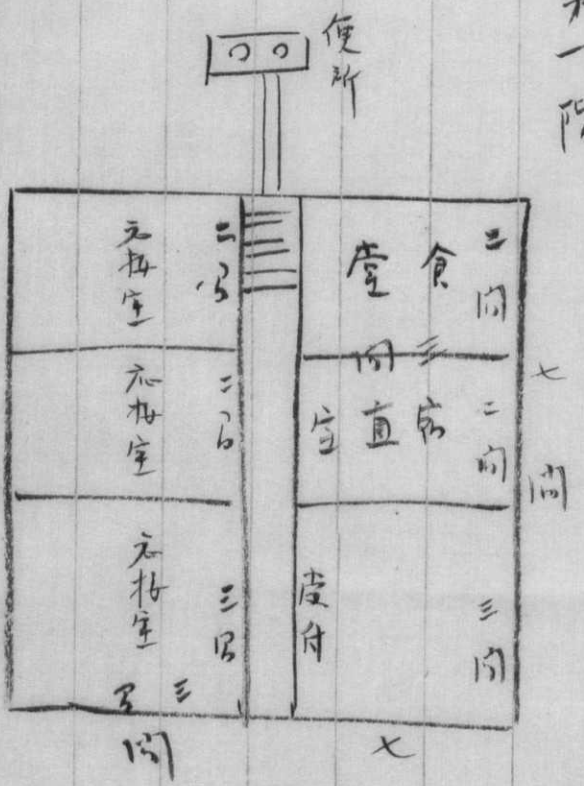
以建坪四十九坪五人

河府新河村河島地

建物所在

河案

第一階



一廊下 七坪

一皮付 九坪

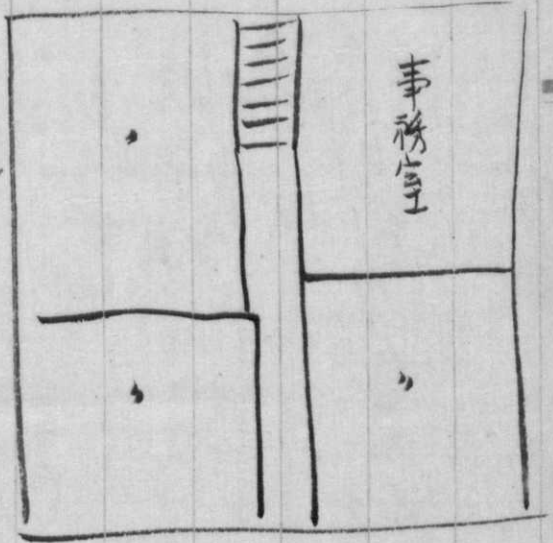
一元枋室 九坪

一食室 六坪

一直室 四坪

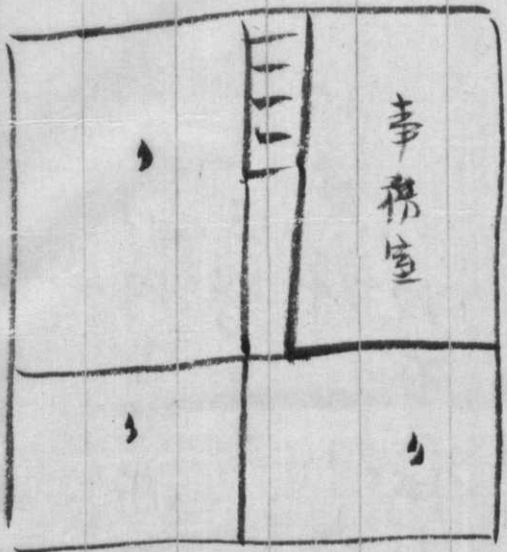
一便所 五坪

四十九坪五人



事務室 四十二坪
 一 廊下 七坪
 ノ 四十九坪

九三三



事務室 四十四坪
 一 廊下 五坪
 ノ 四十九坪

朋佑

事務室在課稅標地中角

營業者

何社何所何何何

商部

何屋

一 物品販賣業

何商

卸賣額
小賣額

何百
何千
何月
何月

- 一 賣上金額
- 一 運物賃貸賃保
- 一 経費者

何人

昭和 年 月 日 開業

右之通り直也

年月日 右營業至

何

果

何後務署長
司設官何

某 啟

商務登記陳述書

何新和何所村何步公

何 某

印

登記事項

何新和何所村何步公何一某

一 商務所有權在何所

二 商務

何一屋

三 營業種類

何一販賣業

四 營業所

何新和何一

右登記申請任事也

四一三年月日 在

何 某

何一區裁判所

即中